

# CRED レター

【No. 25】

Center for Research and Educational Development (CRED) ※Credibility of CRED「クレッド」とご記憶ください

## ごあいさつ

学修・教育開発センター所長 兼古昭彦



学修・教育開発センター(CRED)所長の兼古です。今年度もよろしくお願いいたします。

CREDの活動は、令和3年度に中期計画の取り組みとして掲げた「学修成果・教育成果の把握・可視化」「FD・SDの高度化、教学IR体制の確立」について、本年度から令和6年度までの3年間にわたるより具体的な全学的推進活動に取り組むフェーズに入りました。

上記一連の活動の基本的な考えは、教学マネジメント指針を元としています。押さえるべき大切なポイントは可視化の目的であり、その中心的存在は大学ではなく学生であるという点です。学生が何を学び、何を身につけたのか、その情報を可視化することが必要とされ、求められています。教学マネジメント指針では、DPは具体的かつ明確に定める必要があるとされています。必要に応じたDPの見直しとともに、DPと各科目の到達目標との関連を示したカリキュラムチェックリストなどによる学びの整理、そしてアセスメントプランの策定が提案されています。教学マネジメントの確立のためには、策定したアセスメントプランに沿った点検・評価において可視化されたデータの分析や議論を行い、改善・改革のFD活動を経て、さらに積極的な情報公表をし、社会からの評価を通じた質の保証を循環的に進めることが必要とされています。

さて、今年度の取り組みとしてCREDでは、アセスメントプランの策定を推進して参ります。アセスメントプランの策定やアセスメント（点検・評価）の実施において、学修成果の可視化のために「IR情報」は重要な情報源となります。CREDで昨年度導入したIRシステムによるIRデータの利活用推進とともに、アンケートマップを基にした有用なIR情報の構築、積極的な情報活用の提案、学科・科への提供を行いたいと考えています。データを集め総体的な情報として提供するだけでなく、どのように情報を有効に活かすのか、みなさまからのご意見やご協力を元にそれらの情報の有効活用を検討しより良い情報提供の仕組みを構築していきたいと思います。また可視化のツールとして導入した統合カルテシステムの試験運用も今年度開始する予定です。有効な運用環境を構築し、全学的な運用へ向けてまず、第一歩を踏み出します。

教職員のみなさまのお知恵、お力をお借りしながら、積極的に活動が続けていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度 CREDメンバー

### 所長

兼古 昭彦（造形表現学科）

### 副所長

佐藤 隆弘（児童学科）

### 参事（50音順）

大西 淳之（栄養学科）

小林 理恵（栄養学科）

田中 恵美子（教育福祉学科）

濱田 仁美（服飾美術学科）

保坂 遊（子ども支援学科）

宮本 康司（環境教育学科）

### 《専任職員》

#### 事務長

丸山 毅

#### 副事務長

神保 正典

宮 東城

#### 主任

川島 直子

和田 裕二

#### 書記

安積 和広（5月まで）

矢野 穂

### 《嘱託職員》\*

間野 莉加

### 《業務補助員》

2名

よろしくお願いいたします。

（\*令和4年5月時点）

## アセスメントプラン

今年2月に実施したFDフォーラムにて、各学科に  
右記資料作成のご依頼をさせて頂いております。

アセスメントプランに基づく教育課程の点検・評価は、「大学が掲げる教育目標の達成状況を明らかにし、その結果をもとに改革・改善に努めることで、その質を自ら保証する」内部質保証の手法として非常に有効です。文部科学省や認証評価機関の求める質保証の流れにも沿うものとなりますので、ぜひ作成・推進をお願いいたします。

### 依頼

- ①アセスメント実施体制の構築（提出済）
- ②アセスメントプラン案の作成（～2022/06/30）  
様式②-1 AP, CP, DPの評価項目設定  
様式②-2 直接評価・間接評価の設定
- ③学習成果の可視化の実施（～2022/08/31）  
様式③-1 アセスメント報告・課題の抽出
- ④アセスメントプラン完成（～2023/01/31）  
様式③-2 アセスメントプラン案の修正・完成

## 令和4年度 教育改革推進事業【採択案件】

今年度教育改革推進経費（学長裁量費）予算による研究・開発の案件が、審査を経て6件採択されました。この経費は、本学の教育をさらに充実・向上させるために、教育方法や教材の研究・開発に対して必要な費用全般を補助するためのものです。

### タイプA（個人で申請、1件あたり予算50万円以下）

- ・ 尾崎 司 教授 「保育所実習のDX化を目指した電子版実習記録の活用と仕組みづくり」
- ・ 鈴木 由子 講師 「アパレル3D-CAD教育教材の作成」
- ・ 齋藤 昭彦 教授 「国家試験合格を支援する学習コンテンツの整備」
- ・ 天野 美穂子 講師 「オンデマンド型授業における学生の孤立感、不安感を低減する方途の開発と検証」

### タイプB（組織で申請、1件あたり予算250万円以下）

- ・ リハビリテーション学科 「COVID-19パンデミックを契機とした実習教育改革  
-リハビリテーション技術を可視化・修得するための新しい学習システムの構築-」
- ・ 服飾美術学科 「アパレル総合ラボ設立のための調査研究」

## 令和4年度 授業アンケート

令和4年度授業アンケートを以下の日程で実施いたします。

### スケジュール

#### 前期授業アンケート

- 5/20,7/1 教員向けアナウンス（メール）
- 5/20～8/1 回答可能期間

#### 後期授業アンケート

- 9/16,11/29 教員向けアナウンス（メール）
- 9/16～1/30 回答可能期間

授業終了時期になりましたら、先生方はご担当の授業でアンケートを実施していただきますよう、お願いいたします。  
詳細は、教員向けアナウンス（メール）よりご確認願います。

## 令和4年度 教職員研究会

### ご予定確保よろしく申し上げます

テーマ：東京家政大学の中長期計画の実質化に向けて

ー現実を踏まえた計画の立案・推進ー

#### ■第一部 基調講演（オンライン開催）

7/21(木) 15:20～17:00

講演Ⅰ： 講演者 調整中

・演題： 東京家政大学を取り巻く環境と現状把握（仮称）

講演Ⅱ： 講演者 学長 井上 俊哉

・演題： 東京家政大学の未来像（仮称）

#### ■第二部

9/6(火) 13:00～17:00

第一部振り返り・ワークショップ等

プログラム詳細は検討中。

理事向け、教員向け、職員向け等のカテゴリーを設けて開催します。

CREDレターに関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎百周年記念館1階）

電話番号：03-3961-0284

E-mail：cred@tokyo-kasei.ac.jp